

エコアクション21 環境経営活動レポート

活動期間：2025年3月～2026年2月



丸善エコアース有限公司

発行日 2026年3月30日



☎:0299-57-0530 FAX:0299-57-0092
MAIL:maruzen5383@river.ocn.ne.jp
URL : <http://www.maruzen5383.com>

agenda

目次



1. 環境方針	3
2. 組織の概要	4-5
3. 許可内容等	6-7
4. 一般廃棄物処理フロー	8
5. 環境経営目標	9-10
6. 環境経営目標 実績評価	11
7. 環境活動計画・実績、評価及び次年度の取り組み	12-15
8. 環境経営活動報告	16
9. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	17
10. 代表者による全体の評価と見直し	18

1.環境経営方針

【経営理念】

当社は、社会に役立ち、人々の環境や暮らしを豊かにし、循環型社会形成、地域環境の保全に貢献することを目指し、環境保全活動に取り組めます。

【基本方針】

1. 地球温暖化防止の為に、節電・節水・エコドライブによる省エネ・省資源を推進し、低炭素社会の実現に貢献する。
2. 環境経営レポートを公開し、信頼と協調を図る。
3. 廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成に貢献する。
4. 地域貢献活動に積極的に取り組み、社会とのコミュニケーション向上に努める。
5. 環境関連の法規、条例等の規則を遵守し、適正な業務を遂行する。
6. 環境経営の継続的改善を行います。

制定日：2019年7月31日

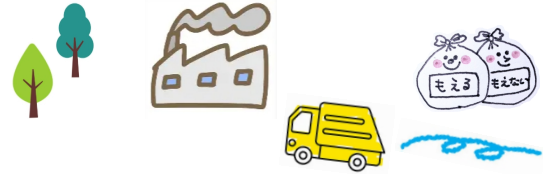
丸善エコアース有限公司
代表取締役 今泉 善弥

2.組織の概要

1. 事業者名及び代表者

事業所名：丸善エコアース有限会社

代表者名：今泉 善弥



2. 所在地

本社：〒311-3507 茨城県行方市羽生673-2

羽生営業所：〒311-3507 茨城県行方市羽生621-1

芹沢営業所・リサイクル工場：

〒311-3501 茨城県行方市芹沢1591-48

3. 環境管理責任者及び連絡先

責任者：今泉 裕太

連絡先：0299-57-0530

FAX：0299-57-0092

メールアドレス：maruzen5383@river.ocn.ne.jp

メールアドレス：maruzeneco5383@kind.ocn.ne.jp

URL：http://www.maruzen5383.com

4. 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、 再生資源回収業

5. 事業規模

法人設立年月日：2003年3月25日

資本金：300万円

売上高：18,900万円（2025年3月～2026年2月）

従業員数：20名

事業所延べ面積：2207.24㎡

6. エコアクション21の対象範囲

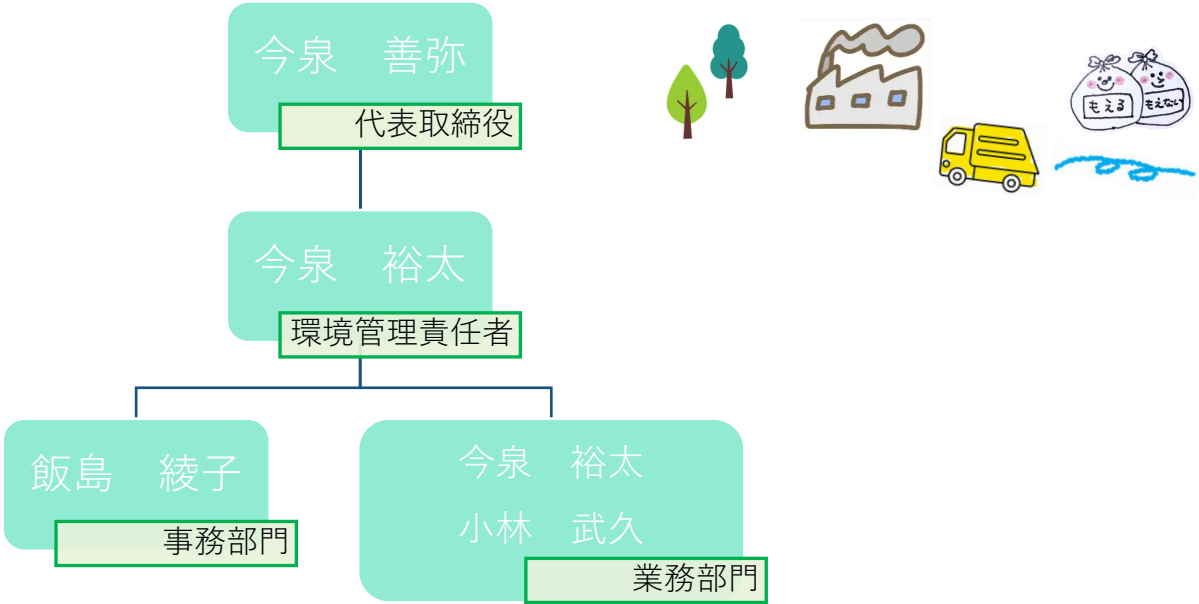
（1）エコアクション21の対象範囲（認証・登録範囲）

・対象組織 ； 全組織

・対象活動 ； 全活動

（再生資源のリサイクル、片付け事業、産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬）

7. 実施体制図



責任者	責任及び権限
代表者	・ 環境経営に関する総括責任
	・ 環境経営システムの実施（設備・費用等）
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境経営方針の策定、見直し
	・ 環境経営目標、計画を承認
	・ 代表者による全体の評価と見直し
	・ 環境経営レポートの承認
	・ 経営における課題とチャンスの整理と明確化
環 境 管 理 責 任 者	・ 環境経営システムの構築、実施及び管理
	・ 環境関連法規の取りまとめ表を承認
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境経営レポートの確認
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みを認識し、自主的に環境活動へ参加
事務部門	・ 環境レポートの作成
	・ 環境への負荷自己チェック表及び取組自己チェック表の実施
	・ 環境目標、活動実績の集計及びデータ管理報告

3.許可の内容等

(1) 一般廃棄物処理許可証

許可市町村	事業区分	許可年月日	有効年月日
行方市（29行環指令第17-1号）	委託 家庭ごみ収集運搬 事業系ごみ収集運搬	2025年3月27日	2027年3月31日
鉾田市（鉾田市指令第11号）	事業系収集運搬	2026年4月1日	2028年3月31日
かすみがうら市（第77号）	事業系収集運搬	2026年3月5日	2028年3月31日
小美玉市（小美玉環境指令第7号）	事業系収集運搬	2026年3月9日	2028年3月31日
鹿嶋市（鹿嶋対指令第49号）	事業系収集運搬	2026年3月31日	2028年3月31日
茨城町（町指令第25号）	事業系収集運搬	2026年2月5日	2028年2月4日

(2) 産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号	廃棄物種類	許可年月日	有効年月日
茨城県 第0801119390号 【優良認定】	汚泥、廃プラスチック類、紙屑、木屑、 動植物性残渣、金属屑、ガラス屑・コ ンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類	2025年7月21日	2032年7月20日
千葉県 第01200119390号	汚泥、廃プラスチック類、紙屑、木屑、 繊維屑、動植物性残渣、ゴム屑、金属 屑、ガラス屑・コンクリート屑及び陶 磁器屑、がれき類	2023年11月27日	2028年11月26日

保有車両

事業計画の概要

許可区域内での事業系一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬事業を通じて適正な処理処分を促し、循環型社会への貢献、資源の有効利用の促進、地球温暖化の防止を図る。



脱着装置付コンテナ専用車

(アームロール)

・2台



キャブオーバー

(ユニック)

・1台



バン

(箱車)

・1台



塵芥車

(パッカー車)

・14台



リフト1.5 t

・1台

コンテナ



10m³



3.5m³

2m³

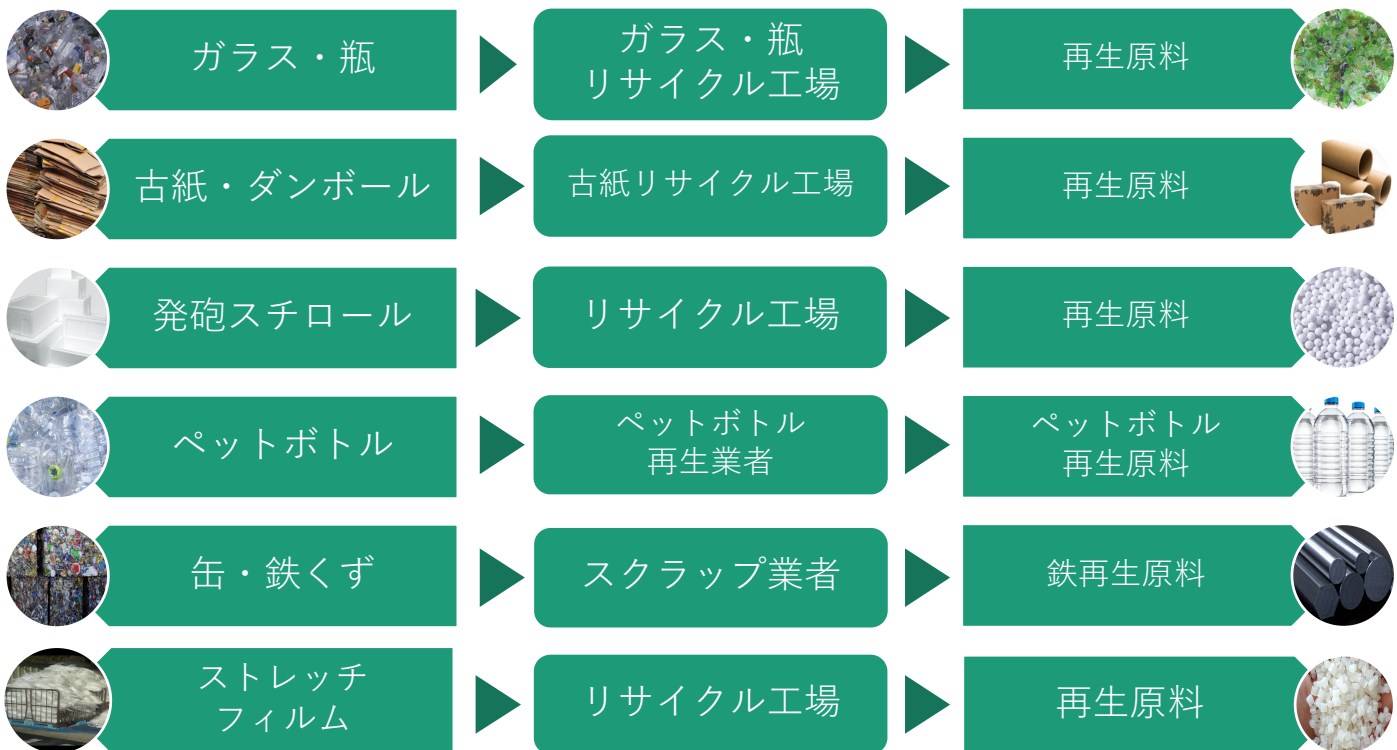
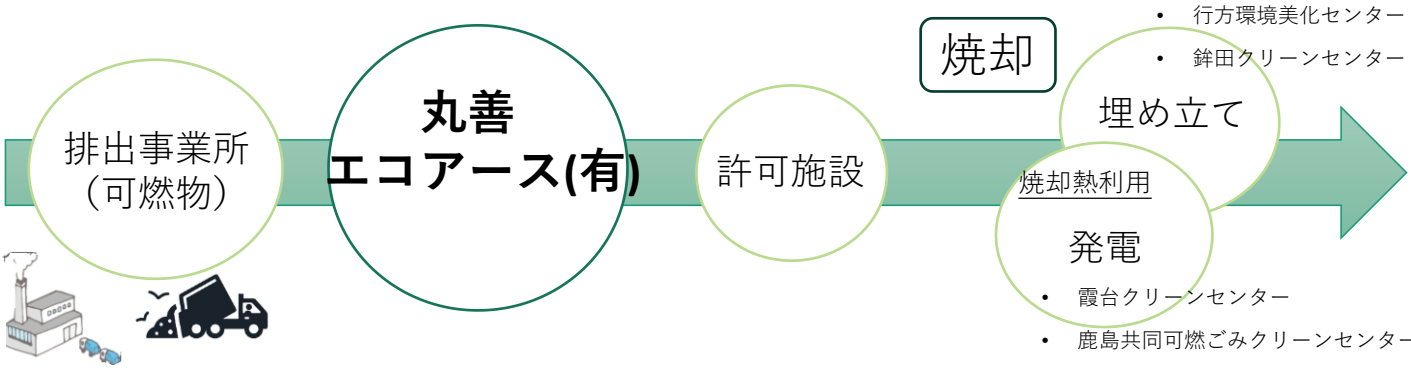


8m³

年間収集運搬量（t）

	2023年度	2024年度	2025年度
産業廃棄物	353	257	240
委託一般廃棄物	5,061	5,360	5,161
契約事務所一般廃棄物	1,181	1,124	1,240
リサイクル 再生利用	857	1098	1,171

4.一般廃棄物処理フロー



5.環境経営目標

KPI項目		基準年			
		2021年度	2024年度	2025年度	2026年度
Co2排出量削減	Co2排出量	209,633	3%削減	3%削減	3%削減
	(kg-Co2/年)		203344.01	203344.01	203344.01
	売上あたりのCo2排出量	1233.1	3%削減	3%削減	3%削減
	(kg-Co2/百万円・年)		1196.107	1196.107	1196.107
電気使用量削減	電気使用量	7,587	維持	維持	維持
	(kwh/年)		7400	7435	7435
	売上あたりの電気使用量	44.63	維持	維持	維持
	(kwh/百万円・年)		44	44	44
燃料使用量削減	L軽油使用量	79,777	維持	維持	維持
	(L/年)		78180	78180	78180
	L売上あたりの軽油使用量	469.28	維持	維持	維持
	(L/百万円・年)		459	459	459
一般廃棄物の再生利用		793	3%向上	4%向上	4%向上
(t/年)			816.79	824.72	824.72
水使用量削減		94	3%削減	3%削減	3%削減
(m3/年)			91.18	91.18	91.18
環境教育・コミュニケーション実施回数		12	3回増加	現状維持	現状維持
(回/年)			15	12	12
※Co2排出換算係数は、東京電力2018年度0.474(kg-Co2/kwh)を使用					

当社が設定している原単位

売上あたりのCO2排出量

= 年間CO2排出量 (kg-CO2/年) ÷ 年間売上高 (百万円)

売上あたりの電気使用量

= 年間電気量 (Kwh/年) ÷ 年間売上高 (百万円)

売上あたりの燃料使用量

= 年間燃料使用量 (L/年) ÷ 年間売上高 (百万円)

環境経営目標

エコアクション活動はSDGsで表現されている社会課題と連動している。KPI項目ごとに関連するSDGsのゴールを設定し、より広いエコアクション活動の推進に務める。

KPI項目	当社の取組み	SDGsゴール	
CO2排出量削減	電気使用量、燃料使用量、水使用量の削減		気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
電気使用量削減	■ エアコンの温度設定 ■ OA機器スリープ設定 ■ 休憩時消灯 ■ 節電POP掲示 ■ エアコンフィルターの掃除		手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
			持続可能な消費と生産のパターンを確保する
			気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
燃料使用量削減	■ エコドライブ推進 ■ 収集運搬ルート効率化 ■ 車両点検		手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
			持続可能な消費と生産のパターンを確保する
一般廃棄物排出量削減	■ 分別の徹底 ■ リサイクルの徹底 ■ 自社紙使用量の削減 ■ FSC認証・MSC認証などを購入する ■ プラスチックごみの削減		レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
			住み続けられるまちづくりを
			持続可能な消費と生産のパターンを確保する
			海の豊かさを守ろう
水使用量削減	■ 洗車時の節水 ■ 事務所にて節水POPの掲示		持続可能な消費と生産のパターンを確保する
環境教育・コミュニケーション実施回数	■ 従業員ミーティングの実施 ■ 育成指導 ■ 交通ルールを守り、事故を起こさない ■ 世界の状況を知る ■ 支援団体へ寄付 ■ ごみ拾い、会社周辺の清掃活動		すべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
			海の豊かさを守ろう
			平和と公正をすべての人に
			持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化

6.環境経営目標 実績評価

[評価基準]実施状況100%：○、80%以上：△、80%未満：×

KPI項目		基準年	単年度目標	単年度実績	実績評価	
		2021年度	2025年度	2025年度		
Co2排出量削減	Co2排出量	209,633	3%削減	5%削減	○	全体としては、Co2排出量を削減することが出来た。個別に見ると、電気使用量の増加が課題である。
	(kg-Co2/年)		203,344	198,498		
	売上あたりのCo2排出量	1233.1	3%削減	14%削減	○	
	(kg-Co2/百万円・年)		1196.1	1053		
電気使用量削減	電気使用量	7,587	維持	26%増	×	昨期を上回る電力消費量となった。稼働率が上がったなどが考えられるが今後も継続して取り組む。
	(kwh/年)		7,435	9,628		
	売上あたりの電気使用量	44.63	維持	14%増	×	
	(kwh/百万円・年)		44	51.12		
燃料使用量削減	L軽油使用量	79,777	維持	5%削減	○	今期も削減出来た。ドライバーの意識向上による成果。継続して取り組む。
	(L/年)		78,180	75,366		
	L売上あたりの軽油使用量	469.28	維持	14%削減	○	
	(L/百万円・年)		459	399		
一般廃棄物の再生利用		793	4%向上	48%向上	○	今期も向上出来た。次年度も取り組みを継続。
(t/年)			824.72	1171.15		
水使用量削減		94	3%削減	7%増	×	車両、従業員増によるものと考えられる。今後も継続して取り組む。
(m3/年)			91.18	101		
環境教育・コミュニケーション実施回数		12	現状維持	現状維持	○	全体だけでなく、担当部署ごとにミーティングを実施することもできた。
(回/年)			12	12		

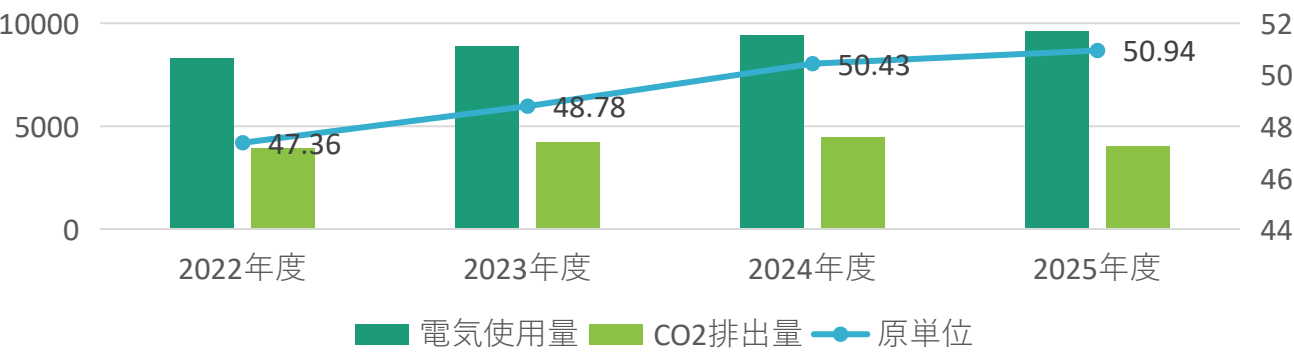
※Co2排出換算係数は、東京電力2024年度0.421（kg-Co2/kwh）を使用
化学物質は使用していない

※水の基準実績は車両平均使用量
1台/回＝15分、1分＝12L
180L×3回/月＝540L/月
540L/月×17台＝9180L/月
110.16m3

7.環境経営活動計画・実績・評価及び次年度の取り組み

[評価基準]実施状況100%：○、80%以上：△、80%未満：×

電気使用量削減

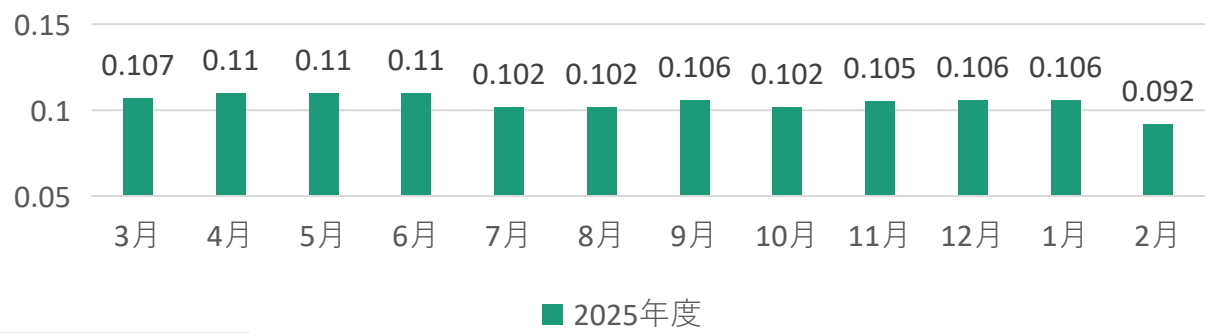


活動計画	実績	評価
エアコン温度設定管理	夏季：28度±1度/冬季20±5度を目安に設定。設定温度の見える化を実施。	○
エアコンフィルターの掃除	使用時期前後の掃除を行った。	○
OA機器のスリープ機能活用	PCや、プリンターの設定変更実施。	○

次年度の取り組み

電気使用量に関しては、現在の取組みを継続していく。

2025年度 軽油1リットルあたりの運搬量



日付	ODOメーター	経過距離	給油量(L)	燃費(km/L)	評価
2026/03/21	140107.0	171.0	67.00	4.35	E
2026/03/19	139772.0	142.0	39.00	6.14	E
2026/03/17	139471.0	204.0	40.00	6.46	E
2026/03/14	139148.0	146.0	60.00	3.91	E
2026/03/12	138874.0	117.0			
2026/03/07	138470.0	178.0			
2026/03/05	138160.0	139.0			
2026/03/04	138021.0	140.0			
2026/02/28	137556.0	176.0			
2026/02/26	137263.0	169.0			

日付	CO2削減量Kg-CO2	1日当たりKg-CO2	1km当たり(g-CO2)	CO2削減量
2026/03/21	201.74	100.87	600.00	削減失敗
2026/03/19	128.38	64.19	430.00	削減失敗
2026/03/17	131.00	43.67	410.00	削減失敗
2026/03/14	183.40	91.70	670.00	削減失敗
2026/03/12	196.30	39.30	490.00	削減失敗
2026/03/07	193.88	96.94	630.00	削減失敗
2026/03/05	60.26	60.26	430.00	削減失敗
2026/03/04	199.12	49.78	430.00	削減失敗
2026/02/28	186.02	93.01	630.00	削減失敗
2026/02/26	41.92	41.92	250.00	削減失敗

エコドライブポータルサイト・レコー

Recoo

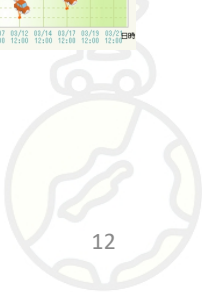
Reduce CO2

CO2総排出量

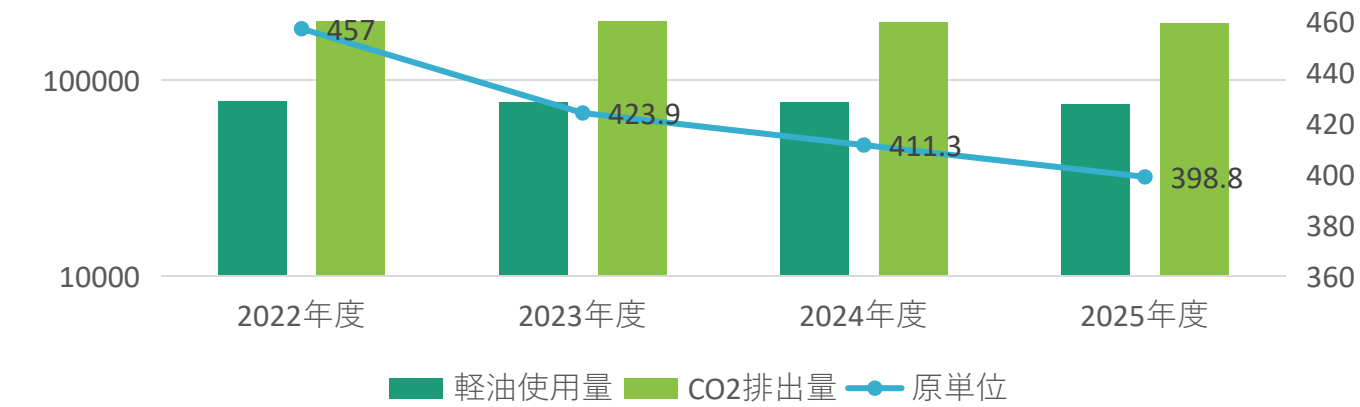
66,231.16Kg-CO2

単位: kg-CO2

Recooを使用して過去最高・最低燃費、ベスト3燃費、CO2排出量、総走行距離、総給油量、総給油金額などの情報を知ることができます。



軽油使用量削減

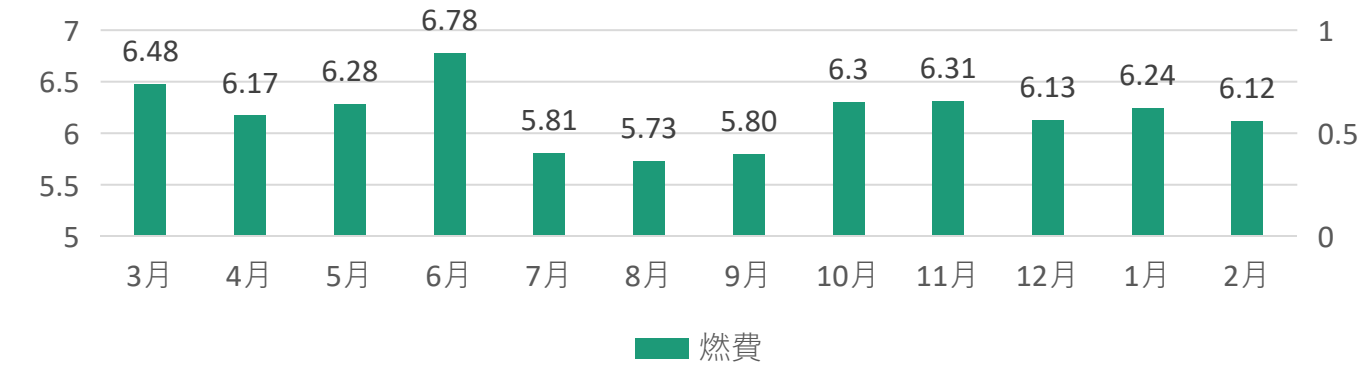


活動計画	実績	評価
エコドライブの実施	エコドライブ10のすすめを実践する。	○
日常点検、定期点検の実施	空気圧のチェック・過積載や速度管理	○
各車両の燃費管理	見える化。月1のミーティングにて、従業員の意識向上を図る。	○

次年度の取り組み
次年度も取り組みを継続。

※Co2排出量は、環境省算定方法 燃料法を使用
※単位発熱量38.0 (GJ/kl) 炭素排出係数0.0188 (tC/GJ)にて換算

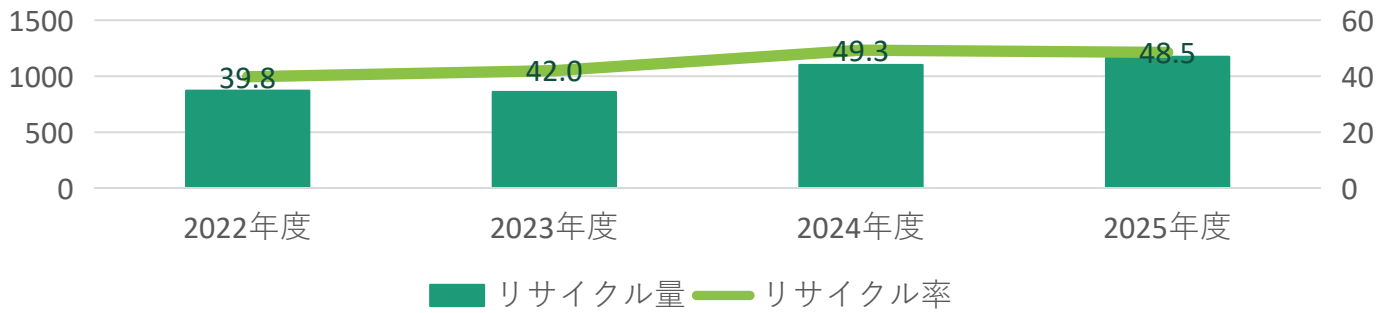
燃費推移 (km/ l) 2025年度



活動計画	実績	評価
エコドライブの実施	アイドリングストップ徹底。エコドライブ10のすすめを実践。	○

次年度の取り組み
次年度も取り組みを継続。

リサイクル量推移



活動計画	実績	評価
リサイクル率向上	取引先へのリサイクル分別徹底をお願いした。	○
次年度の取り組み		
次年度も取り組みを継続。		



日本のリサイクル率

2021年・・・19.9%

2022年・・・19.6%

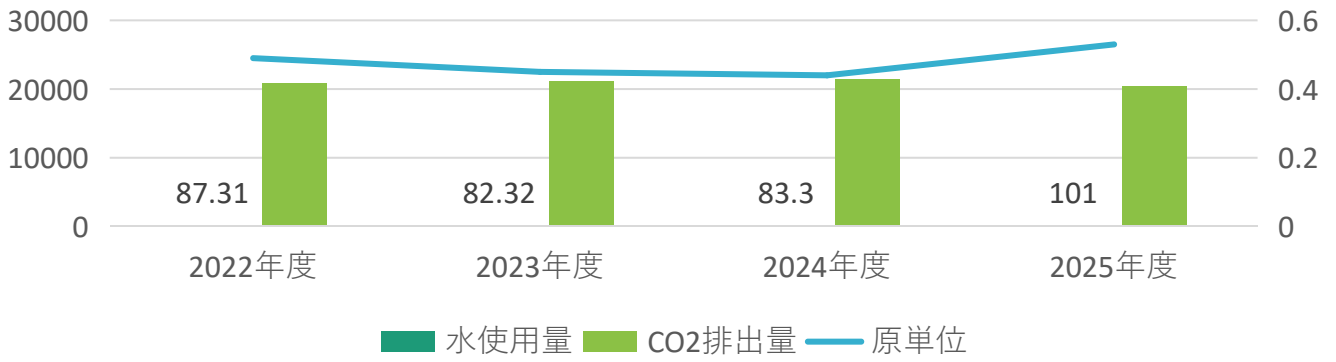
(出典) 環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和4年度）」

リサイクル量構成



- ペットボトル
- スクラップ
- 段ボール
- 新聞
- 雑誌
- シュレッター
- 発泡スチ
- ガラス・瓶
- アルミ
- スチール
- 古着
- ストレッチフィルム

水使用量削減



活動計画	実績	評価
洗車時の水流しっぱなしをせず。都度止める。	ハンドルの使用で、水を一旦止めることが出来る為うまく活用できた。	○

次年度の取り組み

車両、人員増により使用量増だが、次年度も取り組みを継続。

自社の水Co2排出量を身近なもので例えると!?

2025年度 水道局参考



●ガソリン車で214km走ったのと同じ排出量



●電球型LEDを6834時間点灯したのと同じ排出量



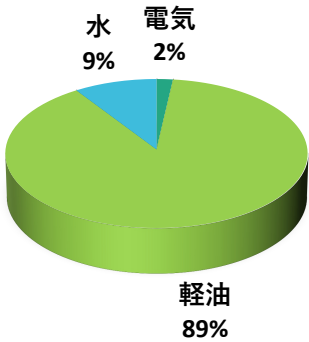
●このCo2排出量は、サッカーボール50個分と同じ重さ



●28本の木が1ヵ月に吸収するCo2と同じ量

8.環境経営活動報告

CO2排出量構成



産業廃棄物収集運搬車の用に供する運搬車に係る低公害車の導入状況
1. 産業廃棄物収集運搬車の用に供する運搬車に係る低排出ガスの導入状況
令和7年3月現在

全保有台数	17	100%
平成14年以前の規制適合車	1	0.58%
平成12年基準低排出ガス車	良☆	
平成12年基準低排出ガス車	優☆☆	
平成12年基準低排出ガス車	超☆☆☆	
平成12年基準低排出ガスPM75%低減ディーゼル車☆☆☆		
平成12年基準超低排出ディーゼル車☆☆☆☆		
平成13年規制適合車	10	58.80%
平成17年規制適合車		
平成17年基準低排出ガス車☆☆☆		
平成17年基準低排出ガス車☆☆☆☆		
平成17年基準低排出ガス車☆☆☆☆		
平成17年基準適合/Nox・PM10%低減重車★		
平成20年規制適合車		
平成21年規制適合車		
平成21年規制適合/排出ガス10%低減車☆		
平成22年規制適合車		
平成28年規制適合車	6	35.2

車両入替の際は、環境に配慮した車両を導入する。

2.産業廃棄物収集運搬車の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況（令和7年3月現在）

運搬車の燃費低減レベル	台数（割合）
全保有台数	17 100%
平成27年度燃費基準達成車	7 41.10%
平成27年度燃費基準5%達成車	5 29.40%
平成27年度燃費基準10%達成車	1 0.58%

今後車両入替の際は低燃費車両の導入をしていく。

低公害車導入状況

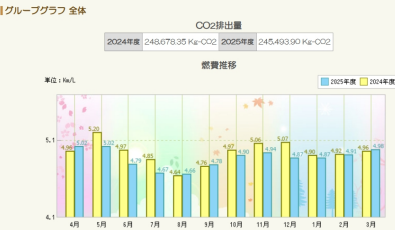
今後車両入替の際は、低燃費車両の導入をしていく。

01

軽油使用量削減に向けて

【水戸 800 あ 7027】

日付データ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	3,459	4,192	2,768	3,407	3,329	3,309	3,650	3,810	3,718	3,888	3,773	4,251.3
2025年	3,562	3,073	3,435	3,563	3,517	3,201	4,225	3,624	3,797	3,201	3,246	4,103.5
差	103	-1,119	667	156	188	-1,018	566	-165	79	-967	-27	-1,051.8
2024年	671.00	741.00	640.00	695.00	620.00	654.00	702.40	748.00	699.00	720.00	630.00	705.00
2025年	714.00	570.00	659.00	700.00	641.00	653.00	776.00	717.00	744.00	660.00	624.00	694.00
差	43.00	-171.00	99.00	5.00	21.00	-51.00	73.60	-31.00	45.00	-54.00	-30.00	-211.00
2024年	5.21	5.60	5.13	5.03	5.37	5.06	5.21	5.11	5.32	5.35	5.20	5.07
2025年	5.02	5.39	5.38	5.12	5.49	5.31	5.44	5.05	5.10	4.78	5.20	5.16
差	-0.19	-0.21	0.25	-0.11	0.12	0.33	0.23	-0.06	-0.22	-0.57	0.00	0.09



日常点検・エコドライブ10のすすめを実践

空気圧チェック、不要な荷物が積まれていないか等出発前のチェック。
来年度の道路交通法改正に向け、全従業員での実走試験等を行い準備をしている。

ミーティングの実施

車両別燃費と推移をグラフ化し、それを基に情報共有をしている。
チームミーティングにて、情報共有、相互理解を短サイクルで実施。

02

5S活動の実施

羽生営業所・芹沢事務所周辺のゴミ拾い

年に数回ですが、周辺のゴミ拾いを行い、少しでも地域貢献へ繋がる様継続していきたい。



9.関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

過去3年間に於いて関係法規に関する関係機関等からの指導・指摘等、訴訟もありません。適用法令を全てチェックし問題ないことを確認しており、これらの法規については随時見直しを行い、事業活動に適用される環境法規制・条例等の遵守に努めます。

	適用業務	法令等の名称	主な内容	確認結果
1	一般廃棄物（紙類）の排出・収集運搬	・ 廃棄物処理法 ・ 市条例	条例に基づく分別と排出	○
2	一般廃棄物（可燃物・不燃物・資源物）の排出・収集運搬	廃棄物処理法	・ 契約書の締結・更新 ・ 収集実績の報告 ・ 許可証の更新	○
3	産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	・ 契約書の締結 ・ マニフェスト管理 ・ 報告書の提出	—
4	産業廃棄物の収集運搬	廃棄物処理法	・ 契約書の締結・更新 ・ マニフェスト/電子マニフェスト管理 ・ 事業報告書の提出 ・ 許可証の更新	○
5	収集運搬業	貨物自動車運送業輸送安全規則	・ 車両総重量が7ト以上又は、最大積載量が4ト以上の普通自動車である事業用自動車のタコグラフ搭載 ・ 過積載の遵守	○
6	収集運搬業	家電リサイクル法	・ 特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬に関し、廃棄物の適正な処理を行う	○
7	フォークリフト所持	オフロード法	・ 基準適合表示車でなければ使用できない（「適合」ステッカーの貼付	○

10.代表者による評価・見直し・指示

【評価】

前年度と比較して、受注量も増え尚且つ少しではあるがCo2削減とエネルギー削減が出来た。

また受注量が増え、廃棄物処分量も増加。
またリサイクル率も上がり素晴らしい取り組みが出来た。

【見直し・指示】

地域環境が激変する中、取り組みに終わりはありません。

これからも環境経営活動を継続することで、社員一人ひとりが未来へ関心をもち、社会の信頼を高め永続的経営に結びつけていきたいと考えております。

Web site

2026年3月30日



代表取締役 今泉 善弥